

こうげい

都立工芸同窓会会報 No.185

2025年（令和7年）4月10日 発行

春 *Spring, 2025*

投稿を歓迎します

- ・皆様のお仕事などでの成果、創作、社会貢献など、ご活躍のご様子をぜひお知らせください。
- ・クラス会の様子もお知らせください。

郵送先：都立工芸同窓会

（住所は工芸高等学校と同じで、最終ページにあります。）

またはホームページのお問い合わせより
ご投稿ください。



からの依頼が絶えず、本校のねぶたは様々な場所で披露をすることができております。この度、総会においては生徒による講演をさせていただく運びとなりました。何卒どうぞよろしくお願いいたします。

今後同窓会は、継続的な支援及び同窓会全体のつながりを深める活動が続けてまいります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

通学する生徒の皆さんは、「ここ数年「突如としてねぶたが現れた」もしくは「自然と毎日ねぶたが居る」という感覚ではないでしょうか。これは、昨年度に部として発足した、定時制の部活動「ねぶた造形研究部」と申します。

当部では、ねぶたという大きな一作を短期集中的に協働制作します。それぞれの学科で習得した技能と感覚を生かし、皆で作り上げる中で、生徒は協働力を磨き、青森ねぶたの持つ「造形力や色彩美」などの複合的な芸術の深さと「難しさ」を学びます。制作で「重要視していることは、生徒は体験するのではなく、「高クオリティと感動させる作品」をマストとし制作の追求をしています。おかげさまで、様々な公・民間からの依頼が絶えず、本校のねぶたは様々な場所で披露をすることができております。この度、総会においては生徒による講演をさせていただく運びとなりました。何卒どうぞよろしくお願いいたします。

日々、さまざまな場面で「活躍のことと存じます。都立工芸同窓会会長として、皆様に心からの「ご挨拶を申し上げます。」

都立工芸同窓会は、オンラインでの交流や情報発信の強化にも力を入れています。公式ホームページでは、オンラインでの会費納入や会報紙「こうげい」のバックナンバー閲覧が可能なほか、ブログを週に一度更新。展示会や同窓会の様子も随時募集しております。

2027年には母校が創立120周年を迎え、記念行事が予定されています。さらに、同窓会では卒業生同士の親睦を深めるためのイベントや交流会も定期的に開催しています。さまざまな分野で活躍する卒業生が集まり、情報交換や協力の機会を提供することで、新たな可能性が広がっています。

また、在校生への支援として、キャリア支援や講演会の開催を通じて、卒業生の経験や知識を次世代に伝える取り組みを進めています。これにより、在校生が将来の進路を考える際の参考となることを期待しています。

2025年度総会（ごあんない）

日時 5月17日（土）受付10時40分から

講演 午前11時～午前11時40分 会場：母校1階視聴覚室

演題：定時制ねぶた部の夢

「日本の伝統文化・技法『ねぶた』を芸術として確立するために」
報告：生徒による報告

顧問：山内 勇輝氏（定時制グラフィックアート科教諭）

総会 午前11時50分～午後12時20分 会場：視聴覚室

懇親会は開催致しません。

※御出席の方は、同封のハガキに必要事項をご記入の上、必ず4月30日までに投函をお願い致します。
ホームページからのお申し込みもできます。

定時制ねぶた部の夢

山内 勇輝（定時制G科教諭）
定時制ねぶた造形研究部顧問

同窓会の活動報告とご協力をお願い

同窓会会長 藤岡俊平（2014年M卒）

都立工芸高等学校で

先生方と子どもたちを支えて

定時制PTA会長 新野晃朗

2024年4月に定時制PTAの会長職を拝命してまもなく1年が経ちます。

今年度の活動では大変多くの先生方、親御様、子どもたち、そして同窓会の皆様にはお世話になりました。定時制PTAを代表して本当に心から感謝申し上げます。

さて、今年度の活動の特徴を申し上げますと子どもたちがこの学校で居場所を見つけて活躍し、それを支える先生方、親御様方々が一生懸命でした。代表的なものを以下に挙げますので是非ともご拝読ください。

4月に活動が始まりすぐのことでした。定時制高等学校の全国大会にバドミントン部、剣道部が出場いたしました。それだけでも素晴らしいことと先生方、PTAで話していたところに、子どもたちから応援グッズのデザインをいただきました。それをPTAでは横断幕にして試合会場に足を運び大きな声で応援しました。とても印象的な活動でした。また、



懸垂幕掲示:写真1

校舎の懸垂幕を作成、掲示して全国大会出場をお祝いしています。(懸垂幕掲示…写真1、横断幕デザイン…写真2)

9月に入りますと工芸祭の準備で学校全てが、目が回るほどの忙しさになります。その準備の最中、春の活動で作成していただいた横断幕のデザインがまたまた活躍します。そのデザインがシャチハタ株式会社様の目に留まり工芸高等学校オリジナルスタンプを作成していただきました



横断幕デザイン:写真2

た。さらに、そのスタンプが工芸祭では多くの来場される方々に興味を持っていただきました。(工芸祭でのスタンプ活動…写真3、工芸祭での一部作品…写真4)

いずれの活動も子どもたちが中心となり、先生方と私たち定時制PTAの皆が一生懸命に支えてきたものです。他にも体育祭、球技大会、卒業式の準備などでもその積極的な様子が伺えました。子どもたちは最後まであきらめずにみんなのために頑



工芸祭でのスタンプ活動:写真3



工芸祭での一部作品:写真4

張り、一生懸命に「ものづくり」を楽しんでいます。私たちは子どもたちの失敗も成功も全て受け止めて、その様子(子どもたちの成長)を間近で見ることができ、感じることでできました。

その喜びがPTA活動にはあります。この楽しみ、ワクワク感がまた来年も、そのまた再来年も続きますことを願います。最後に子どもたちの成長を支えPTA活動にご参加いただきました皆様の一歩踏み出していただきました勇気に心から感謝申し上げます。

古き良き時代は懐かしい

関根伸司(1959年・定F卒)

近年、加齢で爺となつてしまつた私、記憶は定かでないが「帝都」の、中央を、宮居くんに近く……の校歌を斉唱したのを覚えている。あの頃の夜学としての照明設備は、総体として安泰のはずだったがたまに停電が発生した。そして普段の実習室は素朴で少し薄暗く、刃物を研ぐ流し台では砥石に手の影が生じ見づらかつた。そんな環境下で、年季の染み込んだ厚い天板の板に、太い脚の頑丈なさまの作業台には力を漲らさせられた。そして何処からともなく木の匂いのする実習室の中の仲間との掛声は良好な関係を築け、あえて誰かに聞いてもらつて苦しみで薄まることがあつた。そして、実習時間中は自分の世界に没頭でき、貴重な時間に夢中に過ごせてもらえたことが大好きだった。今は、季節毎に届く会報「こうげい」を手にして開封するまでの僅かなあいだ、歳のせいなのか胸が「ざわつく」。それは亡くなられた重鎮会員を思い、目を瞑ると途端に面々の顔が浮かぶからだ。そして振り返ると、大海に太陽の昇る風情を描写した、歴史と伝統ある校章を構えている大理石の旧校舎で教えを下さつた「あの先生」他に経済成長真っ只中で忙しかつた時代に世話になつた百貨店の「あの先輩や後輩」それと黒板の字が蛍光灯下で

投稿

今に通ずる、工芸高校で学んだ事

安田翔哉(2016年・A卒)

眩しい教室で一緒に学び夏季には、わが工芸の吉浜寮に涼を求めに行った「あの校友」がずっと胸に残るからです。又、技術を極めて故人となられた方々からは、生きるこの大変さ乗り切ることの尊さを教わって胸を打たれ、自分の足りない部分に気付き、途方もない努力を果らせてもらった。お陰で技術の面だけでなく、人として成長させてもらえ、その充足感を十分に満たすことが出来た。最後に工芸に関わった人生として「感謝がある」。それは定時に身をおいている凡庸の私にある日、理科担当の教師である「津久井先生」が私を新宿の若松町方面の病院に検査の為だと思ったが連れて行って下さった。病院名は忘れたが植木の「つた」の茂った静寂の建物の面影は覚えている。

今思うと何でこうなったのか定かでない自分が生存しているのだからその訳があったのかな、そして思った。理想な腕の「さえ」を示すのは「工芸健児」だが、心の「さえ」を示して下さったのは信受ある「津久井正幸先生」で、残り少ない人生に誇りと夢の明るい兆しを残してくださり、ありがとうございました。



僕は2016年に工芸高校を卒業し、今は博報堂という広告代理店でCMプランナーとして働いています。その他にも漫画の仕事も並行して行なっています。『ビッグコミック』『コロコロコミック』(共に小学館刊)、『ミックDAYS』(講談社刊)、『アックス』(旧名ガロ)、『青林工藝舎刊』など様々な年代の読者に向けて漫画を発表しています。

会社の仕事と、漫画の仕事の中で高校時代に学んだ事が今でも大きく役立っています。一番は「締め切りを守る」ということです。

高校に上がるまでモノづくりに関して、期間を設けて行うという経験がありませんでした。いわば趣味の範疇だったわけ



です。工芸の授業ではプロとして手を動かすという意識を教えて頂いたように思います。締め切りを破れば、作品が良くても減点。機材を使える場所や時間も限られています。つまりは制約の中で作業をする。正直、学生当時は厳しいなと思う事もありました。しかし社会ではそれが当たり前だという事を身をもって痛感しています。

締め切りを破れば、先方に迷惑をかけるしまう。信頼も失う。時間配分などの制約の中でいかにハイクオリティな物を創作できるか、そういった事にも頭を動かしながら、手も動かす。その訓練を初めてさせて頂いた場所でした。

そしてもう一つは客観的視座を頂けた事。自分の作った物を評価してもらえ。

これも初めての経験でした。授業では毎回、作る物に対する指針があります。いわば、先生がクライアントなのです。その中で自分の作りたい物を表現するのですが、自己満足というわけにはいきませんが、相手がいる事を念頭に置いて、モノづくりを行う。フィードバックを頂ける。独りよがりではいけないという事を強く意識する事を学ばせて頂きました。

世の中のモノづくりに、ほとんど依頼主がいます。それを頭に置いて最大限のパフォーマンスを行う。社会では至極当たり前の事を、高校時代に教えて頂いた事は大きな財産になっています。

そんな中、くじけそうになる事もあります。その時には励まし合う工芸の仲間がいました。「作る事が好き」という共通点を持った友達、大人になった今でも良く連絡を取り合っています。誰々はこの物を作っている。こんな仕事をしている。

それが刺激になり、自分も頑張ろう！という興奮剤になっています。

僕は時々ふと、高校時代の夢を見ます。仲間と切磋琢磨し、青いながらも懸命に試行錯誤しながら作業に取り組んでいたあの頃に、潜在的に戻りたいと考えているようです。それだけ濃密で宝物だった3年間。そのおかげで今の僕はモノ作りを生業にできています。



母校情報

工芸祭レポート

2024年度の東京都立工芸高校の工芸祭は、10月26日(土)と27日(日)の二日間にわたり開催されました。毎年恒例のこのイベントは、生徒が手がけた様々な作品が展示されるほか、学校説明会も実施され、母校教育やデザインについて一般の方が触れられる機会となっています。今年は事前予約不要で、来場者は当日に受付端末で情報入力を行い入場できるシステムでした。

今年度のプログラムデザイン、ポスターデザイン、バジッデザイン受賞作品や、中学生在応募する夢コンペの作品展示なども注目を集めました。

今年度の工芸祭のテーマは「百鬼夜行



絵巻」でした。工芸高校では装飾や販売されるグッズなど全て一貫したテーマで統一されるので、瓦屋根の入場門をくぐると校舎の外も中も「物の怪の世界」一色に彩られていました。

着物を着た在校生達の姿も一層雰囲気盛り上げていました。ポスターやパンフレットはもちろん、各科の装飾、射的やガチャなどのアトラクション、全日制演劇部による演劇作品『BAR・妖(バー・あやかし)』の登場人物達までもが妖怪という徹底ぶりです。学園祭といえばお化け屋敷は人気出し物のひとつですが、今年の工芸祭は学校全体が楽しいお化け屋敷のような趣向で繰り広げられました。

母校OB・OG展示コーナー前 交流イベント報告

同窓会事業PJ委員会
菊地和浩(1983年D卒)

去る令和6年11月20日(水)放課後に昨年より計画を進めておりました同窓会と生徒会とのコラボレーション企画として、母校OB・OG展示コーナー前スペースにて卒業生と在校生の交流イベントが実施されました。これは在校生に向け卒業生との交流を図り活気ある学校生活をおくり、今後の活動に役立ててもらうことを目的として企画したもので、令和6年2月9日、同窓会事業プロジェクト(以下PJ)委員と母校生徒会及び生活指導小林先生との面談を行ない、同日在校生と卒業生とのイベントについてのアンケートを依頼、同年3月21日にアンケート結果を回収集計(回収総数132)。その結果をもとに事業PJ委員会にて討議を重ね同年4月3日OB・OG展示エリアでの交流会を行う旨決定、生活指導部木村先生を通じ職員会議を経て11月20日に開催が決定しました。母校生徒会が全校生徒に告知をし、希望者のみの参加、事前に予約などは取らず自由参加での開催でしたが、当日20名弱の在校生と一部の先生が集まり15時過ぎに開始。今回のパネリストには現在OB・OG展示に展出中の(ちにゆり)さん(2015年D卒)にお



OB・OG展示コーナー前での交流風景

関西工芸会だより

関西工芸会の集い

昨年11月23日（土）、京都にて第61回関西工芸会の集いを開催しました。

関西工芸会は工芸高校全日制・定時制卒業生で関西に移住されている方により組織された同窓会で、90年以上の歴史があります。

現在、関西工芸会として把握している会員は90代の大先輩から20代前半の後輩まで56名がおります。当日は昭和29年卒の先輩から平成27年卒の後輩ま



「関西工芸会の集い」の様子

で総勢11名と（二次会から3名増えました）、東京からは都立工芸同窓会藤岡会長・神山先生・細江元理事が参加してくださり、総勢17名で開催する事ができました。

世代の垣根を越えて同窓という絆で友好を深め、東京から離れた関西の地でも学生時代の話や現在の活躍を楽しく語らう場になりました。

昨年私が尊敬する同じ彫金業界で活躍する作家さんから「今私の右腕として活躍して頼りにしている女性が工芸高校卒業生ですよ!」と。嬉しびつくりでお名前を伺ったら11年前の関西工芸会の集いに参加して下さったA科の後輩でした!伝統工芸盛んな京都で大活躍されている事を知れて嬉しかったです!

これからも伝統ある関西工芸会が継続して活動していけるよう努めて参りますので、現役の工芸生と卒業生の皆様が卒業後の進学・就職等を機に関西に来られる際には、都立工芸同窓会ホームページ『お問い合わせ』にて是非ご連絡下さい。年に一度の集いではありますがお案内を送付させて頂きますので、関西に母校の同窓会組織が存在するという事を頭の片隅に入れて頂けたら幸いです。

関西工芸会 事務局

松田 健（2001年・A卒）

おとなの工芸祭2024報告 デザイン科OB・OG作品展報告

おとなの工芸祭実行委員会

2024年10月28日（月）より11月3日（日）まで市ヶ谷・一口坂ギャラリイにてデザイン科卒業生有志の作品展「おとなの工芸祭2024」が開催されました。期間中は約270名の来場者があり、成功のうちに終了いたしました。

今年は昨年を上回る36名の卒業生が出展し、イラストレーションや立体オブジェのほか、AIを活用して制作された作品もあり多様性に富んだ作品が並びました。「推し」というテーマに沿って、日頃業界の第一線で活躍するデザイナーの意外な一面も垣間見える楽しい展示会場となりました。

11月2日（土）には「私の好きな街・建物」と題する君島昌之先生の講演会も行われ、国内の歴史的な建物や街を探索した旅の思い出などについて、先生のお話を伺いました。この日、講演会の後開催された懇親会も盛会となり、D科卒業生が世代を超えて友好を深めました。この懇親会には29期（1990年卒）の担任、石井直之先生（社会科）もご出席され、懐かしい再会で大いに盛り上がりしました。

ご来場いただきました方々や開催にご協力いただきましたみなさまに心より感謝申し上げます。



懇親会の様子



君島昌之先生の講演会



会場風景

110年を超える歩み もっと知りたい都立工芸の歴史

1907年（明治40）東京府立工芸学校創立。1932年（昭和7）に25周年を盛大に祝った後は、戦時情勢の緊迫化によって30周年行事なども行えず。終戦後わずか2年目の1947年（昭和22）5月3日には新憲法が施行になったとはいえ、占領下の重苦しい社会的背景の中で、40周年記念行事が挙行された意義は大きい。

第7回

○創立25周年に1万を超える入場者

1932年（昭和7）11月12日より3日間にわたり、展覧会を中心とする創立25周年記念の祝賀行事が開催された。初日12日は936名の来賓客、13日は父兄及び卒業生、一般参観者など入場者8,056名、最終14日は2,501名。3日間で1万人を超え、13日には築地工芸会の主催の祝賀会も盛大に行われた。

校舎3階に統計室を設けて、まず本校の全般的概念を。統計室を出れば次は生徒成績品陳列室。図画や図案が多数陳列されている。卒業生出品物は皆立派な物ばかりであった。控室の即売場では、品物は丁寧に出ていて安いと、売れ行きは素晴らしいものであった。

○創立40周年ハイアン・バンド

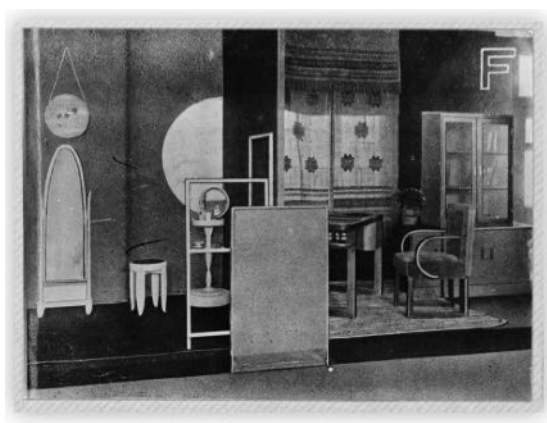
1947年（昭和22）5月3日、戦争放棄、民主主義の新憲法が公布された。また、「教育基本法」が3月に定められた。10月の40周年記念工芸祭には学校が一丸となって取り組んだ。まだまだ食糧難と物資不足の時代、工場は動かず、実習材料さえろくにそろわないのに、いったいながでできるのか、助けを求められた。

卒業生が奮起し、所属会社にも援助してもらい、先生と計画を進めた。その結果、玄関ホールにはタマ電気自動車が陳列され、東京船舶の特等船室モデル・ルーム、相澤先生作のロボット、装身具などが各教室に飾られた。これらはほとんどが企業提供とはいえ、祝典を彩り、焼け野原で再建に取り組んでいた他校からも参考にされる成功を収めた。

この年の工芸祭と体育祭は本科・第二本科合同で行われたが、工芸祭では第二本科の上級生を中心に軽音楽の演奏も講堂で行われた。戦争から帰ってきた機械科の澤村衛先生は生徒に交じり、第



創立40周年記念「工芸祭」ポスター



各科の生徒成績品が展示された創立25周年記念成績展覧会

二本科の楽団の指揮をとり、本科ではハイアン・バンドの一員となってスチール・ギターを演奏した。このギターは生徒の手作りであった。

40周年記念品としてバッジが全校生

徒に配布された。デザインは校内で公募し、金属工芸科のフリクションプレスで試し打ちされた後、量産されたものである。

都立工芸高等学校は1907年5月10日に創立、今年で118年です。

伊東久江（1985年・F卒）

参考文献・図版出典『工芸学校80年史』『都立工芸100年の歩み』

技術資料の制作

取扱説明書
マニュアル
翻訳
テクニカルイラストレーション
3D
音楽
通販

有限会社 ステーション・エム
代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
http://www.station-m.co.jp/ e-mail: hosoe@station-m.co.jp

PLANNING CENTER
STATION.M
有限会社ステーション.エム

Instruction manual
Service Manual
Translation
Technical Illustration
3D
Music
Mail-order selling

校友の活躍

「I科卒 木下凜々さんが技能五輪で敢闘賞を受賞」報告

竹野秀治（I科主任教諭）

2020年3月にインテリア科を卒業した木下凜々さんが昨年11月愛知県で行われた第62回技能五輪全国大会「家具」の職種に出場しました。二日間（第一日目6時間・第二日目5時間）で合計11時間にも及ぶ大会です。

この大会は、国内の青年技能者（原則23歳以下）を対象に技能競技を通じ、青年技能者に努力目標を与え、ともに、技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く国民一般に対して技能の重要性及び必要性をアピールし、技能尊重機運の醸成に資することを目的として実施する大会であり、昭和38年から毎年開催されています。幅広い職種を対象とする、唯一の全国レベルの技能競技大会です。（本校インテリア科卒業生であり、現在定時制教員の伊藤聖樹先生も大学3年の時に出場しています。）

3・4年前ではありませんがこの大会を2回見学しました。各都道府県の予選会を通過した技能者のみ出場できる大会です。二日間の中で「正確な墨付け」、「かなりの危険を伴う木工機械の使用」、「引き出しの包み蟻組み接ぎ及び五枚組み接

ぎ加工」等一つ一つ難易度が高いものを組み合わせ一つ一つのを作り上げる課題です。何度も練習を重ねた選手でも時間内に終わらないこともあります。

木下凜々さんは、工芸高校在学中は、課題について色々な視点で考え、丁寧に一つ一つを積上げて作品制作に取組む生徒でした。発想を具体的なものにしていくのが好きな生徒だったという印象が残っております。大会に参加することを同級生に伝えたところ、色紙を作って「応援メッセージ」を送りました。また、「凜々ちゃんが頑張っているから私も頑張る」と勇気をもらっている同級生が大勢いました。卒業生の頑張りがみんなに大きな力を与えていると思いました。この経験は自分の中で大きな宝物になると思います。やってみたいことを長く続けることで身につくことや新たな発見があると思います。長い人生の中で離れてしまうことがあるかもしれませんが、更なる向上を目指して活躍されることを願っております。



WorldSkills.jp

技能五輪に参加して

木下凜々（2020年I卒）

工芸高校卒業後、大学でデザインを学び現在は飛騨職人学舎という2年制の学校で木工を学んでいます。大学では1度木工から離れましたが工芸での実習で木工の楽しさを知り、再び学びたいという強い思いで学舎への入校を決めました。朝早くからのランニング、スマホも禁止、年齢もこれまでの人生経験も違う同級生との寮での共同生活。不安もありましたが「木工が好き」という大きな共通点がある仲間存在は日々の作業や課題に取り組むうえでの励みになっています。

昨年11月に行われた技能五輪全国大会は23歳以下の年齢制限があり、私は最初で最後の出場機会でした。悔いを残す出場にはしたくない、大会までの約2ヶ月半を毎日練習に費やしました。図面や工程も理解できないところからのスタートでしたが、出場経験のある先輩に丁寧に教えてもらいながら繰り返し練習。特に大変だったのは制限時間（11時間）以内に完成させることです。速く美しく仕上げるためには一つ一つの工程を着実にを行い、後から修正する時間を減らすこと、常に次の工程を考えること、作業環境を整理することなどの先輩からの教えを念頭に反省点を毎日記録し

ました。本番1日目では緊張と焦りで、普段のペースより遅れてしまいましたが「絶対完成させる」という気持ちで心を奮い立たせました。慣れない環境とプレッシャーの中で作業することはかなり大変でしたが、メンタルを大きく成長させることができた貴重な経験となりました。

指導くださった先生や先輩方、支えてくれた家族、また、お互いに助け合い刺激し合ってきた仲間たち。ここまで指導し、木工の楽しさを知るきっかけをくださった工芸高校の先生方。たくさんの人のおかげで全国の晴れ舞台で目標だった「完成させること」が達成できただけでなく「敢闘賞」という成果まで残すことができました。本当に感謝しています。

今後もより自身の技を磨き、後輩に継いでいけるよう日々精進してまいります。



敢闘賞メダルをかけた木下凜々さん

校友の活躍

ポケモン×工芸展 美とわざの大発見

ポケモン×工芸展が令和6年11月1日（金）～令和7年2月2日（日）麻布台ヒルズギャラリーに於いて開催され桂盛仁氏（1964年・A卒）、吉田泰一郎氏（A科・非常勤講師）が出展されました。

・桂盛仁氏（1964年・A卒）



桂盛仁氏「ルギア」



桂盛仁氏「ブラックー」

・吉田泰一郎氏（A科・非常勤講師）



吉田泰一郎氏「ブースター」



吉田泰一郎氏「ミュウツー」

彫金は金属の多種多様な加工、色付けがあります。ブイズ（イーブイ、サンダー、シャワーズ、ブースター）はポケモンの進化と金属の色付けの掛け合わせをコンセプトに制作しました。全て金属による発色で表現しており工芸高校でも教えている基本的な技術で色付けています。塗装せずに発色させる技術は彫金ならではの感じます。

日常から失われつつある彫金技法をポケモンを通して感じていただけると嬉しいです。

©2025 Pokémon. ©1995-2025 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

「わざの美」——工芸が織りなす装飾の世界」展に、大沼千尋氏と松原伸生氏が出展

「わざの美」展は、「工芸が織りなす装飾の世界」と銘打って、旧近衛師団司令部庁舎（金沢に移転した旧国立工芸館あと）で伝統工芸の多様な分野から重要無形文化財保持者（人間国宝）と、無形文化財として次世代につなぐ工芸技術を保持する作家の作品計22点が展示されました。

会期…令和6年12月9日（月）～12月22日（日）会場…旧近衛師団司令部庁舎

・金工

大沼千尋氏（1970年・A卒）



大沼千尋氏 切嵌銀花器『白の連山』

・染織

松原伸生氏（1984年・D卒）

（重要無形文化財「長板中形」保持者）



松原伸生氏 長板中形着尺『萩文』

個展『鳩が死んでいる』を新富の GALERIE SOL にて開催いたしました

石下雅斗（2009年・A卒）

展覧会では、新作の『諦観と戦慄』（陶）を中心に、現代社会の不条理さや葛藤の中で私が感じたモヤモヤとした感情を、彫刻作品を通して表現しました。

『鳩が死んでいる』というタイトルは、平和の象徴である鳩が直面する危機を暗示し、私たちが見過ごしている現実之光を当てる意図があります。

今後とも、日常の中で生まれる言語化できない感情の機微を、よりクオリティの高い作品を通して、皆様と共に考える機会を創出し、自身の表現を追求していきたいと思っております。

会期…令和6年12月23日（月）～12月28日（土）会場…GALERIE SOL



校友の活躍

令和6年度「第11回 日展」(日本美術展覧会)
に校友3名が入選展示されました

・春山文典氏(1964年・F卒)



「着地」

・田中照一氏(1964年・A卒)



「煌めき」

・尾澤勇氏(1982年・A卒)



「雲海-2024初雪」

第71回日本伝統工芸展

令和6年9月11日(水)〜23日(月)

日本橋三越本店

3名の校友が入選展示されました

金工部門

・人間国宝 桂盛仁氏(1964年・A卒)



「鷹の爪帯留金具」

木竹工部門

・人間国宝 須田賢司氏(1973年・F卒)



献保梨と槐の卓「おほてらの」

染織部門

・人間国宝 松原伸生氏(1984年・D卒)



長板中形麻地着尺
「柏葉文」

アートクラフト科OB・OG展示開催中

3月24日(月)より9月末まで母校1

階OB・OG展示ギャラリーにてA科

の展示が行われています。出展はS39

坂巻亨さん、S39田中照一さん、S57

尾澤勇さん、H17岡田有未さん、H17

服部綾佳さん、H20鈴木泰三さん、

H28汲田日向子さん、H28星野玲さ

さん、H29佐藤麻央さん、H32武内遥也

さん、R3村井洸太さんの合計11名です。

OB・OGの活躍の様子をご高覧ください。



展示風景 | 一階 卒業生展示ギャラリー

医療機器の分野で「世界初」の取り組みを始めています。



「人の未来へ、暮らしに役立つものづくり」を信条としてきた私は、いま新たに医療機器分野への挑戦を決意。その第一歩として開発した製品がディスプレイ電極です。QRコードからご覧いただくことができます。同窓生みなさま、ご興味があれば私と一緒に新たな事業にチャレンジしてみませんか？

第14期 都立工芸高校卒

代表取締役 駒村武夫



SOFKEN

株式会社 ソフケン

047-498-1111 www.sofken.co.jp/



同窓会
ホームページ



同窓会
メルマガ登録



同窓会
お問い合わせ



同窓会
会費納入

母校だより

全日制アートクラフト科

『国際コイン・デザイン・コンペティション 2024』に4名入賞！

独立行政法人造幣局による「国際コイン・デザイン・コンペティション2024」が、大学（院）、各種専門学校、高等学校、中学校等を対象に開催され、本校でもA科の生徒が挑戦いたしました。

国内のみならず海外4力国の地域から380作品が応募。その中から、中嶋心愛さん（3年）の作品「絶滅とクローン」と新川侑奈さん（2年）の作品「Marine pollution ～苦しめられる生物達～」が審査委員特別賞を受賞。

また、吉川優香さん（3年）の「日常」と清水聡太さん（2年）の「HOON DRIVER」が奨励賞を受賞されました。入賞された皆さんおめでとうございます。

審査委員特別賞受賞作品（2作品）



3年 中嶋心愛さん 作品名「絶滅とクローン」



2年 新川侑奈さん 「Marine pollution ～苦しめられる生物達～」

定時制グラフィックアート科

T L F 革のデザインコンテスト「革コン2024」ユース・クリエイターズ賞受賞！！

本コンテストには、一般作家から生徒までの総計1856作品という幅広い応募があり、その中から定時制G科4年の上原穂果さんと荷川取妃椰さんの2名が1次審査を通過。その後WEB投票、そして最終審査を経てクリエイティブ部門としては上位10作品に選ばれ、見事「ユース・クリエイターズ賞」を受賞されました。作品は革の魅力である「経年劣化」に目を向け、長く使えるもので、経年劣化によりおしゃやれでアンティークになるものを考えた際、筆筒が思い浮かんだそうです。11月21日（木）～22日（金）、第108回東京レザーフェア会場にて表彰式と作品展示が行われました。



上:4年 荷川取妃椰さん

左:作品名「経年劣化を楽しむ革筆筒」

コンペ・大会・コンクール等の主な成績

全日制

■ART CRAFT

- 東京ドームホテル アクアアートデザインコンテスト
最優秀賞:1グループ(5名)、敢闘賞:2グループ(13名)
- 第16回美術工芸甲子園 優秀賞:1名
- 第15回SUWAアンカットダイヤモンドジュエリーコンテスト
優秀賞:1名
- 国際コイン・デザイン・コンペティション2024 審査委員特別賞:2名、奨励賞:2名
- 第18回糸魚川翡翠ジュエリー・アクセサリーデザイン画コンテスト
法人会長賞:2名

■MACHINE CRAFT

- 全国製図コンクール[機械系]
最優秀特別賞:1名、最優秀賞:1名
- 明るい選挙ポスターコンクール
東京都入選:1名、文京区優秀賞:1名、佳作:1名
- 拓殖大学工学部ORANGE CUP 2024 入選:1名

■INTERIOR

- 第18回高校生ものデザインコンテスト [クラフト部門]優良賞:2名、奨励賞:1名 [インテリアデザイン部門]優秀賞:1名、優良賞:3名
- 第36回丹波の森ウッドクラフト展[ジュニアの部]
準グランプリ:1名、特別賞:1名、佳作:1名、館長賞:1名

- 東京都建設系高校生作品コンペティション2024 [家具部門]最優秀賞:1名、優秀賞:1名、CCI東京特別賞:1名 [模型部門]優秀賞:1名、CCI東京特別賞:1名、審査員特別賞:1名 [製図部門]CCI東京特別賞:1名 [ポスター部門]最優秀賞:1名、優秀賞:1名、CCI東京特別賞:1名
- 第11回高校生フォトグランプリ(日本写真芸術専門学校主催) 入選:1名

■GRAPHIC ARTS

- 2024「読書週間」ポスターイラスト 入選:1名
- 文京区高齢者クラブいきいきシニアのついでポスターコンペ採用:1名、優秀賞:3名
- 第43回川の写真コンクール 銀賞:1名、銅賞:1名、佳作:2名

- 20歳未満喫煙防止ポスターコンクール
最優秀賞:1名、優秀賞:4名
- 未成年非行防止ポスターコンクール 最優秀賞:1名、優秀賞:1名
- 情報セキュリティポスターコンクール 優秀賞:1名

■DESIGN

- 都立工科高校ドリーム・フェスタ2024 ロゴ採用:1名
- 冊子「都立高校に入学を希望する皆さんへ」裏表紙採用:1名
- 令和6年度学校要覧 表紙採用:1名
- 拓殖大学工学部 ORANGE CUP 2024 優秀賞:4名、準優秀賞:8名、入選:7名、審査員特別賞:4名
- 「翔」専門高校生徒体験発表文・作文・研究文集 表紙採用:1名
- 産業教育振興中央会 月刊誌「産業と教育」
表紙デザイン採用:1名
- おおしま国際手づくり絵本コンクール2024 銅賞:1名、奨励賞:3名、入選:1名
- 文京区社会を明るくする大会 ポスター原画採用:1名、チラシ原画採用:1名
- 明るい選挙啓発ポスターコンクール 東京都入選:1名、文京区優秀賞:6名、文京区佳作:4名
- 消防船PRコンテスト 入賞:1名
- 「デザ魂」クリスマスカードデザイン&イラスト 優秀賞:1名
- 第12回文京・見どころ絵はがき大賞 文京建築会ユース賞:1名、テーマ賞(文京の風):1名、作品賞:1名、優秀賞:1名

資格取得・検定合格

■MACHINE CRAFT

- アーク溶接特別講習:1名
- 計算技術検定1級:3名、3級:19名
- 機械製図検定:9名
- 情報技術検定3級:29名
- パソコン利用技術検定:22名
- ジュニアマイスターゴールド:8名、シルバー:4名

■INTERIOR

- 技能検定家具製作(家具手加工作業) 2級:2名
- 建築CAD検定試験 準1級:2名、2級:13名、4級:17名
- ジュニアマイスターゴールド:3名、シルバー:1名、ブロンズ:2名

■DESIGN

- CGクリエイター検定 ペーシック:1名
- 華語文能力試験(TOCFL)Band C2:1名
- 韓国語能力試験(TOPIK)2級:1名

■複数の科

- 基礎製図検定(ART CRAFT、MACHINE CRAFT、INTERIOR):98名
- ガス溶接技能講習修了(ART CRAFT、MACHINE CRAFT):45名
- 色彩検定(MACHINE CRAFT、INTERIOR、GRAPHIC ARTS、DESIGN)2級:20名、3級:27名、UC級:1名
- レタリング技能検定(INTERIOR、DESIGN)2級:2名、3級:60名

定時制

■INTERIOR

- 東京都建設系高校生作品コンペティション2024 [工芸部門]最優秀賞:1名、優秀賞:1名、CCI東京特別賞:1名、審査員特別賞:1名

■GRAPHIC ARTS

- 明るい選挙啓発ポスターコンクール 文京区特別賞:6名、文京区佳作:1名
- 歯と口の健康に関する図画
- ポスターコンクール[東京都高等学校の部]
最優秀賞:1名、佳作:1名
- 環境教育ポスターコンクール 入賞:2名
- 東京都高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会「大会ポスター原画」及び「冊子表紙」イラスト採用:1名
- T L F 革のデザインコンテスト「革コン2024」[クリエイティブ部門] ユースクリエイターズ賞:1名
- 工芸祭 公募作品 [バッチ部門]大賞:1名

資格取得・検定合格

■MACHINE CRAFT

- 計算技術検定3級:9名
- アーク溶接特別講習:8名

■複数の科

- 基礎製図検定(ART CRAFT、MACHINE CRAFT):6名
- 色彩検定(INTERIOR、GRAPHIC ARTS)3級:16名

事務局より

一般寄附ご芳名

昨年8月1日以降3月31日まで、ご芳志をお寄せいただいた方々は次のとおりです。

・寄付金額18万6、500円です

ありがとうございます。

(順不同、敬称略)

杉田発雄、佐味貫義、古井純士、林令二、松田正巳、高木家守子、松本七五三吉、西田耕一郎、横山裕、飯沼勲、佐藤弘行、中村輝雄、若松延男、関根伸司、藤原高遠、伊東久江、野本能義、木下晴雄、谷一秀、鈴木幸男、丸山士郎、間中辰男、山本凱子、長谷川充、古木嘉雄、時田佳代、宮森隆志、福田哲夫、櫻井明子、山田一彦、帆足宗二郎、佐藤治、奈良場友彰、串田恭男、金子満、戸津圭之介、安井輝之、長井豊、小田部邦彦、井上伸行、地濃正明、阿左美朱礼、松田健、佐藤有悠美、佐藤麻央、椎名厚太、高木実、布施達也、青野博、牛窪渾二、飯島饒、芦沢良雄、黒田次郎、小口輝夫、小川千秋、山増智子、北田孝志、山林愛美、久保田裕之、福田満、古澤貞男、松井重欣、長堀映司、巻島勝、林正清子、松井温、黒田晴香、長谷川奏、熊野明吉、桑原満、石井琢人、和田勝、池田博、亀井正弘、飯塚邦雄、山崎真子、大平勝哉、大野早苗、金子秀行、野村岳、菊島希美、長谷川栄、服部功、杉山昌光、野島進、奥村潤、小川光、氏家美佐、上野春海、市村雄太、小林久展、片岡典晴、芦沢良雄、三浦保之、刀根理佳、戸矢雅道、石川勝、多田洋一、大平勝哉、福島彰生、小幡武司、阿部百華

訃報

前回の会報184号以降、本会宛にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申し上げます。

()内は逝去された日です。

小池 博 S 25 A 卒 (不明)
中田 実 S 29 M 卒 (R 7・1・6)
吉村衛治 S 30 P 卒 (R 6・2)
山下一男 S 34 F 卒 (R 6・12・12)
山本やす子 S 34 D 卒 (R 7・1・9)
小佐々憲 S 36 A 卒 (R 6・5・19)
村田恵子 S 43 A 卒 (R 6・12・26)

2025年度理事会各科理事(敬称略)

会長 藤岡俊平 (2014・M卒)

副会長

磯野祥 (1989・A卒)
木村光輝 (1985・M卒)
岡田里美 (1989・F卒)
佐々木慎一 (1973・P卒)
帆足宗二郎 (1989・D卒)

A (アートクラフト科)

杉本勉 (1961)、神山隆夫 (1968)、堀越敏晴 (1968)、石井正美 (1979)、善養寺幸子 (1984)、松本礼 (1990)、石井あづみ (1996)、佐藤充俊 (2005)、氏家美佐 (2010)

M (マシンクラフト科)

細江邦雄 (1966)、佐々木敏治 (1996)、眞田李風 (2019)

F・I (インテリア科)

桜井洋一 (1968)、伊東久江 (1985)、佐藤貴志 (1989)、堀口邦枝 (1989)、明間秀信 (1990)、坪井裕 (1990)、宮田潤一 (1990)、川越れい子 (1999)、伊藤聖樹 (2018)

P・G (グラフィックアーツ科)

都築晋平 (1976)、井出賢一 (1986)、吉川忠伸 (1986)、久保木秋徳 (1988)、福田善志 (1989)、岡崎晴重 (1990)、久保遊 (2004)、富成世梨 (2008)、佐藤万里子 (2008)

D (デザイン科)

荒井拓哉 (1960)、福田哲夫 (1967)、梶広幸 (1969)、佐藤秀男 (1976)、久世佳史 (1987)、杉原由美子 (1992)、遠藤裕美 (1993)、鶴飼千春 (2013)

中京工芸会(休会中)

岩佐泰樹 (1965・D卒)、井上京子 (1975・F卒)

関西工芸会

丸山士郎 (1968・A卒)、松田健 (2001・A卒)

監事

桜井洋一 (1968・F卒)、荒井拓哉 (1960・D卒)

「都立工芸同窓会名簿2025」が刊行されます

「こうげい」183号にてご案内させて頂きました「都立工芸同窓会名簿2025」が4月16日に完成し、名簿頒布を申し込まれた方への発送が始まります。残り僅かですがご希望の方は同窓会ホームページの「お問い合わせ」からご連絡をお願い致します。



同窓会
お問い合わせ

スマートフォンから会費納入ができるようになりました

同封の「払込取扱票」のお名前の下に印刷されたバーコード(下図)から会費の納入ができます。利用できるのはLINE Pay(ラインペイ)、PayPay(ペイペイ)、au PAY(エーユーペイ)、PayB(ペイビー)です。アプリで読み取ると支払い画面になり、確認して納入の終了です。

(画面に表示されるサラトは会費納入の代行業者です)



都立工芸同窓会 副会長 木村 光輝 (1985年・M卒)	都立工芸同窓会 副会長 磯野 祥 (1989年・A卒)	中京工芸会 副会長 岩佐 泰樹 (1965年・D卒)	関西工芸会 会長 丸山 士郎 (1968年・A卒)	都立工芸同窓会 会長 一般財団法人築地工芸会 工芸基金理事長 藤岡 俊平 (2014・M卒)
都立工芸同窓会 副会長 佐々木 慎一 (1973年・P卒)				都立工芸同窓会 副会長 岡田 里美 (1989年・F卒)
都立工芸同窓会 理事 善養寺 幸子 (1984年・A卒)				都立工芸同窓会 副会長 帆足 宗二郎 (1989年・D卒)
都立工芸同窓会 監事 (株)スパイク代表取締役 桜井 洋一 (1968年・F卒)	(株)ソフケン代表取締役 駒村 武夫 (1965年・D卒)	都立工芸同窓会 理事 久保木 秋徳 (1988年・P卒)	小学生用水平開き学習帳製造販売 米欧特許取得ノート発売(株)中村印刷所 中村 輝雄 (1963年・P卒)	都立工芸同窓会 理事 (有)ステーション・エム代表取締役 細江 邦雄 (1966年・M卒)
都立工芸同窓会 監事 荒井 拓哉 (1960年・D卒)	都立工芸同窓会 理事 神山 隆夫 (1968年・A卒)	都立工芸同窓会 理事 広報委員長 梶 広幸 (1969年・D卒)		



都立工芸全日制
ホームページ



都立工芸定時制
ホームページ



同窓会
ホームページ



同窓会
お問い合わせ



同窓会
会費納入



同窓会
メルマガ登録

